

トップメッセージ(営業の概況)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当中間期は、一般消費動向など当社を取り巻く事業環境は概ね堅調で、各事業とも業績は順調に推移いたしました。

特に、中期経営計画において拡充ビジネスと位置付ける、航空機部品の保管供給ビジネスや、厚生分野における新規事業などで好調な実績をおさめ、経常利益においては20%以上の増益となりました。これにより、中間期としての最高益を2期連続で更新し、中期経営目標の確実な達成に向けて、好調なスタートを切ることができました。

これらを踏まえ、今般、新たな中期目標の策定に着手し、「20%成長」のトレンドを2009年3月期まで維持し、同年度の経常利益目標を50億円と決めました。



代表取締役社長
岡崎 俊城

現在、財務基盤は極めて健全な状態にあり、投資余力も高いことから、今後、攻めの経営に転じ、積極的な営業展開と事業投資を推し進め目標達成へ向けて尽力し、適切な株主還元にも努めてまいります。

引き続き、皆様からのご期待と、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結業績 (単位:百万円)	2005年9月 中間期	前期比 (%)	2006年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	50,943	112	103,000	104
売上総利益	11,435	103	24,200	105
営業利益	1,276	112	3,000	109
経常利益	1,504	123	3,200	111
純利益	827	116	1,600	111

通期の業績の見通し(2006年3月期予想)

下期においても、引き続き航空関連事業や生活提案事業の強化をはかるとともに、新規事業の重点分野と位置付ける「環境」「文化」「厚生」の3分野への展開を推進してまいります。

「環境」分野では、国内外の環境対策や緑化への取り組み、「文化」分野では、前期から製作をすすめ本年6月より販売を開始した、『中国大紀行』DVDソフトの販売プロモーションを強化いたします。

また「厚生」分野では、『JALパッケージ・オーナーシップ・システム』において、新たにプーケット島(タイ)のリゾート物件の取扱いを開始、さらに、介護事業の拡充など、心豊かな生活と社会に寄与する高品質な事業(商品・サービス)の展開に取り組んでまいります。

これらにより、通期業績においても増収増益を見込み、目標の確実な達成と、継続的な成長を目指してまいります。

セグメント別概況

